

2024年3月

各 位

東北生産性本部
会 長 三 浦 直 人

「2024年度 生産性向上定例セミナー」の年間申し込みのご案内

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。当本部の事業に対しましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、2024年度の生産性向上定例セミナーの企画がまとまりましたので、送付させていただきます。

つきましては、貴組織・団体の経営革新・人材育成にご活用いただきますようご案内申し上げます。

敬 具

(添付資料)

1. 年間参加申込案内・申込書
2. 「2024年度 生産性向上定例セミナー」の概要と講師の紹介

2024年度 生産性向上定例セミナー 年間参加申込案内

■ 参加費（年間5回分）

会員企業・労組・団体（2名）	40,000円（税込）
非会員企業・労組・団体（2名）	54,000円（税込）

[参考] 単発での申し込みの場合

会員企業・労組・団体（1名）	4,500円（税込）
非会員企業・労組・団体（1名）	6,000円（税込）

■ 申込方法

下記の「参加申込書」に必要事項をご記入の上、電子メール又はFAXでお申し込みください。電子メールの場合、メール本文にベタ打ちでも結構です。

■ 申込み期限

2024年5月31日（金）まで

■ 申込み・問合せ先

東北生産性本部 TEL. 022-261-0411
 FAX. 022-261-1474
 E-mail: tpc2@t-productivity-ce.jp
 tpc3@t-productivity-ce.jp

2024年度 生産性向上定例セミナー 年間参加申込書

2024年 月 日

会社・労組・団体名			
ご住所	〒		
電話・FAX			
ご担当者	所属・役職・氏名		
	メールアドレス		
参加者氏名	所属・役職名	備考	

申込書受領後、請求書を送付いたします。

「2024年度 生産性向上定例セミナー」の概要と講師の紹介

【各例会共通】

会 場：東北電労会館 2階大会議室(仙台市青葉区立町20-1)
講演時間：14時30分～16時30分(2時間)

第1回例会	演題	「人工知能と共存する未来の職場・働き方」～ワーク・ライフ・バランスの観点から考える～(仮題)
7月18日 (火)	講師	国立大学法人電気通信大学 副学長・情報理工学研究科教授 坂本 真樹 氏
<p>感性をもつAI(人工知能)開発の第一人者。東京大学大学院 総合文化研究科 言語情報科学専攻 博士課程修了、博士号取得。オノマトペ、五感・感性・感情といった人の言語や心理などについてのデータを活用したAI開発に従事。AI・半導体関連企業や、不動産テック企業の技術顧問なども行い、社会のスマートシティ化を推進している。</p> <p>AIなどの最新技術とビジネス動向についての記事や著書多数。著書「坂本真樹先生が教える人工知能がほぼほぼわかる本」(オーム社)は、2020年4月採用の学校図書国語の教科書にも転載されている。</p> <p>AI・ChatGPTなどの登場で私たちの職場や働き方はどうなっていくのかについて講演します。</p>		

第2回例会	演題	働き方改革のいまとこれから(仮題)
9月5日 (木)	講師	早稲田大学 大学院法務研究科 教授 水町 勇一郎 氏
<p>1990年東京大学法学部卒業。東北大学法学部助教授、パリ第10大学客員教授、ニューヨーク大学ロースクール客員研究員、東京大学社会科学研究所准教授等を経て、2010年より現職。専門は労働法学。近年目まぐるしく変わる労働法制。働き方改革の現状と今後の課題、これからの進路の見通しなどについて講演します。</p>		

第3回例会	演題	人材育成(スポーツ関係者)で検討中
10月 日程未定	講師	未定
未定		

第4回例会	演題	「組織が活性化する心理的安全性」(仮題)
11月6日 (水)	講師	有限会社ヒューマンギルド 代表取締役 岩井 俊憲 氏
<p>早稲田大学卒業。有限会社 ヒューマン・ギルド 代表取締役。アドラー心理学カウンセリング指導者。函館大学・青森公立大学・複数の看護学校の講師を歴任。早稲田大学エクステンションセンター講師。2021年4月から2023年3月までハリウッド大学院大学客員教授。</p> <p>企業・自治体を対象にした研修や講演を行うほか、カウンセリング、コンサルティングに従事。中小企業診断士の資格を有する。アドラー心理学によるメンタルヘルスとコミュニケーションの観点から、チームや組織の活性化を実現する具体的な方法について講演します。</p>		

第5回例会	演題	高年齢者を戦力化する人事制度再構築セミナー
2月4日 (火)	講師	日本生産性本部 コンサルティング部 課長 浅野 正和 氏
<p>立命館大学経済学部卒業、立命館大学大学院 経営管理研究科修了。日本生産性本部に入職、雇用システム研究センターにて人事処遇制度の構築・導入支援コンサルティング、調査研究担当を経て、現在、総合政策部にて公共政策業務を担当。保有資格はMBA(経営修士)、日本生産性本部認定経営コンサルタント、貸金管理士。各企業における高年齢者雇用の対応事例を紹介するとともに、今後の高年齢者の戦力化を目指す定年延長を見据えた人事制度の再構築の方法について解説します。</p>		

注1. 記載の演題は、変更となる場合があります。

注2. 第3回例会(10月開催予定)の詳細ならび演題が決まりましたら、適宜ご案内をさせていただきます。